

「ピストン釣り&竹の水鉄砲作り」に多くの方が参加されました。

去る10月28日(日)、名栗地区活性化検討会主催「ピストン釣り&竹の水鉄砲作り」が名栗河川広場にて開催されました。

名栗地区活性化検討会は、国際興業バスの撤退問題を契機に、名栗地区の皆さんが中心となって設立されました。

検討会には、市、西武鉄道、国際興業バスも加わり、名所、体験、食、もてなしの4つの部会に分かれ、バスを活用し、名栗地区を活性化することを目指して活動しています。

検討会では、路線バスを使い、名栗地区の良さを知ってもらおうと今回のイベントを企画しました。豊島区、所沢市を中心に広報をしたところ、予約の段階から好評で、受付から数日でキャンセル待ちが出るほどでした。

当日は、雨天ではありましたが、豊島区、所沢市などから多くのご家族が参加し、ピストン釣り、魚のつかみ取り、竹の水鉄砲作りなどで、都会では味わえない体験を楽しみました。



この様子は、NHK「おはよう日本」の中で放送されました。

こうした地域の皆さんの取組みが公共交通を守ります。

ちなみにこのイベントの翌週、早速、バーベキューに名栗を訪れた参加者の方がいたとのことでした。

職員ノーカーデーを実施します。

7月に実施しました職員ノーカーデーを12月に実施いたします。

今回は、公共交通機関を利用することに焦点を当て、普段、自転車や徒歩で通勤されている方も、ノーカーデーと設定した日には、なるべく、バス、電車にて通勤いただくようお願いいたします。

今回は、12月中に1日以上をノーカーデーとしていただくこととしております。

強制するものではありませんので、飲み会がある日をノーカーデーに設定するなど、負担のない範囲で、ご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

実施した方、実施できなかった方も、アンケート調査にご協力をお願いいたします。アンケートにつきましては、下記担当に1月11日(金)までよろしくお願いいたします。

第2回飯能市地域公共交通対策協議会が開催されました。

11月27日(火)に第2回飯能市地域公共交通対策協議会が開催されました。今回は、公共交通についての共通理解を図る目的で、勉強会の形をとりました。

まず、乗合バスの維持確保について、交通空白地について、第1回協議会の議題の振り返りを行いました。

維持確保については、今ある路線を、地域の財産として「守り」、将来のために「育てていくこと、交通空白地については、地域に合った移動手段を地域で「つくり」、維持していくために「守り」、利用していくことで「育てていくこと」を行っていくことが重要であり、地域住民、事業者、行政の役割分担のルール作りをしていくことを確認しました。座長の吉田先生からは、他市の事例を紹介いただきながら、この協議会に求められていることについて、地域公共交通を、地域、事業者、行政の三位一体で守っていくために、地域は、「利用する」「自ら動く」ことで地域住民の「おでかけ」の環境を整備し、運行事業者は、輸送のプロとして、地域の取組みをサポートし、市は、地域の取組みを支援するという役割分担のルール作りを協議していくという提言がありました。

**エコスタンプラリー開催中。**

国際興業バスでは、バスを利用することにより、地域の活性化や地球温暖化対策につなげようと、エコ・スタンプラリーを平成25年3月31日まで実施しています。

このエコ・スタンプラリーは、特定のバス停(名郷、さわらびの湯、中沢、間野黒指、飯能駅)で下車した際、車内などにおいてある規定の台紙にスタンプを1つ押します。スタンプ1つで、協賛店でサービスを受けられ、スタンプ3つで、記念品をプレゼント。スタンプ4つで、特別賞として抽選で素敵な記念品が差し上げます。

多くの皆様にご参加いただき、環境にやさしいバスでのお出かけをお楽しみください。詳しくは、バス車内のチラシ、国際興業HP、市HPをご覧ください。

お問い合わせは、国際興業バス飯能営業所まで。(電話：973-1161)



※特別賞：写真左から高速バス「夕陽号」(山形県 鶴岡・酒田行) 往復乗車券 1名、八重洲富士屋ホテルペアランチ券 1組2名、さわらびの湯ペア入館券 10組20名

飯能市が舞台のアニメ「ヤマノススメ」が放送されます。

女子高生が子どもの頃、幼馴染みと約束した“山登り”に挑戦するアニメ「ヤマノススメ」が1月2日(水)から(毎週水曜日25時30分から25時35分)東京MXテレビで放送されます。

主人公たちは飯能市在住の中・高校生という設定で、飯能市の街並み、商店街、観音寺、天覧山、聖望学園(モデル)がアニメに登場します。

はじめは、天覧山に挑戦です。(第3話登場予定)。お楽しみに!

天覧山へは国際興業バス「天覧山下」または「天覧山入口」をご利用ください。

市内バス路線

飯能市内には次のバスが運行しています。(他の市と比べ、路線は充実しています。)

○国際興業バス…湯の沢、名郷、名栗車庫、上赤沢、中藤・中沢、間野黒指、飯能日高団地、市営住宅・新光、埼玉医大、こまニュータウン 各方面。

- ・飯能駅～岩根橋間は、全て170円(大人)です。また、この区間は、名栗・原市場方面からのバスのほか、間野黒指、飯能日高団地のバスも運行するので、この間のバスは5分～10分程度の間隔で運行する時間帯もあります。(鉄道以上に運行している時間があります。)
- ・飯能駅～市営住宅間は、全て170円(大人)です。市役所までは「市役所前」バス停があります。

※国際興業バスは、すべて飯能駅北口のバス停を利用します。



○西武バス…美杉台、川寺・阿須を經由して東青梅駅(河辺駅)、岩沢を經由して狭山市駅 各方面。

- ・飯能駅～美杉台ニュータウンまで、全て170円(大人)です。
- ・青梅方面のバスは川寺、阿須、岩淵方面を運行します。
- ・狭山市駅方面は、東飯能駅、佐瀬病院、笠縫、岩沢を運行します。

※狭山市駅方面は飯能駅北口、美杉台、青梅方面は飯能駅南口のバス停を利用します。

○イーグルバス…中山、宮沢などを經由し、高萩駅・日高団地方面。

- ・靖和病院や宮沢湖方面を運行し、市内の運賃は170円(大人)です。
- ・パスモ、スイカは利用できませんのでご注意ください。

※イーグルバスは、すべて飯能駅北口のバス停を利用します。

路線バスの現状

全国の路線バスの利用者は、1970年代は約100億人でしたが、現在は、40億人程度と約60%減少しております。主な理由としては、マイカーの普及が挙げられます。1970年代は一家に1台のマイカーが、現在は1人1台の時代となりました。(1人で複数台所有されている方もいるかと思えます。)

マイカーの普及やマイカー依存は、バスだけでなく鉄道も含めた公共交通への影響が大きくなっており、バス路線においては年間2,000kmが毎年廃止されているとのことです。

また、民間のバス事業者の約70%が赤字経営、公営事業者については約90%が赤字経営となっており、自治体からの補助金等により何とか運行しているという路線バスの現状があります。

本市を運行している路線についても、一部路線を除いて、利用者は減少し、収支も芳しくない状況にあります。

公共交通は移動手段としての役割だけでなく、まちの活性化に大変重要な役割を担っています。積極的に利用していただきますようお願いします。

第8回飯能ひな飾り展にあわせて周遊券を発売。

様々な時代、様々な様式のおひな様で市内を彩る「飯能ひな飾り展」が開催されています。

国際興業バスでは、名栗地区のひな飾り展の見学に便利な周遊券を発売しています。

この周遊券は、購入した一日に限り、名栗方面に向かう路線の飯能駅から黒指間の一往復と黒指から名郷間のバスが乗り放題に利用できるお得な乗車券です。

販売期間：平成25年2月15日から3月3日まで

価 格：1,300円

販売場所：ひな飾り展メイン会場「店蔵絹甚」隣り
「飯能商工会議所」で販売しています。

期間中、午前9時から午後5時まで販売しています。



◎見学スポットのあるバス停

名栗川橋、四海橋、さわらびの湯、連慶橋、宮の平、森河原、柏木橋、名郷

〈ひな飾り展見学の一例〉

飯能駅 ~ 名郷 ~ 連慶橋 ~ さわらびの湯 ~ 飯能駅

通常運賃1,900円が、周遊券なら1,300円です！

名栗地区のひな飾りを、バスでお得にお楽しみください。

見学スポットは、市のホームページにも紹介中！

◎国際興業バスでは、3月31日までエコ・スタンプラリーを実施しています。特定のバス停で下車するとお得な特典があります。

第2回職員ノーカーデーを実施しました。

第2回職員ノーカーデーを実施しました。

このノーカーデーは、平成24年度12月3日から28日の期間、最低1日は、マイカー以外で通勤することとし、また、公共交通の利用ができる職員については、できる限り公共交通を利用して通勤するというで実施したものです。マイカー以外で通勤した職員は、345名、うち、電車を利用した職員113名、バスを利用した職員92名、合計205名の職員が、公共交通を利用して通勤しました。

国際興業バス 彩京のびのびバス発売。

国際興業バスでは、65歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる彩京のびのびバスを3月16日（土）から販売いたします。

彩京のびのびバスは、19,990円で平成25年4月1日から平成25年9月30日までの半年間、国際興業バスの全路線（※高速バス等一部の路線を除く）が乗り放題になる便利な定期券です。

お買いもの・通院・お出かけにご利用ください。

お問い合わせ：国際興業バス飯能営業所（973-1161）

西武鉄道のダイヤ改正に合わせて市内のバスの時刻が改正予定です。

3月16日に西武鉄道のダイヤ改正が行われます。

池袋方面への電車との接続を考慮し、国際興業バス、西武バス、イーグルバスでは、時刻表の改正を予定しています。

詳しくは、各事業者のホームページをご覧ください。

第3回飯能市地域公共交通対策協議会が開催されました。

平成25年3月27日（水）に第3回飯能市地域公共交通対策協議会が開催されました。

協議会では、昨年11月に行われた市民意識調査の結果や利用者アンケートの結果の報告、アンケート結果等から地区の特性を分析した地区別カルテの報告、調査などから得られた課題や交通計画策定に向けての検討事項の協議等を行いました。

委員の皆様から、地区の現状、利用者としての感想など活発な意見が出され、座長の吉田樹先生からは、「バスに乗ってもらうためには、乗ってもらう仕掛けをつくれるかを考える必要がある。品質に裏打ちされた地域の公共交通をどう考えていくのかを議論していく」との提言があり、「つくる、まもる、育てる」という考え方のもと、今後も議論を続けていくこととなりました。



また、先生から「公共交通の維持確保のためには、みなさんが利用することが今できることであり、大切である。」とのお話がありました。

なぜバスを小型にしないの？

利用者の多い通勤通学時間帯は大型バス、昼間の利用者の少ない時間帯は小型のバスにしてはどうかと考えるかもしれません。なぜ、全ての時間帯に同じバスが運行しているのでしょうか。

路線バスは、決まった車両が、決まった路線を専門に運行するというのではなく、運行ダイヤに合わせ、管轄する路線を全て運行しています。名栗方面のバスは名栗方面だけを運行しているのではなく、南高麗方面も日高方面も運行しています。どのバス路線においても乗客数に対応できる大きさのバスを運行しているのです。また、乗客の「乗せ残し」をしないように運行することが大変重要なこととなります。（時間帯によっては、あふれんばかりの人が乗車しているということもあります。）

さらに利用が少ない時間のバスを小型にするとした場合は、大型バスのほかに小型のバスを用意しなければなりません。（大型バスも小型バスも燃費、車両購入費とも大差がないとのことです。）

5 人家族を例にマイカーで考えてみます。休日に家族全員でお出かけするためにワンボックス車を購入したとします。休日は家族でこの車でお出かけします。でも、平日は、お父さんだけがこの車で通勤に利用したとします。通勤では一人しか利用しないので通勤用を別に購入するという家庭はあまりないのではないのでしょうか。バスも経費がかからないよう、利用者が多い時も少ない時も対応できる車両で運行しています。ご理解ください。



西武秩父線の存続を！

3月来、(株)西武ホールディングスの筆頭株主が西武秩父線をはじめとする鉄道5路線や西武ライオンズの売却などを提案しているとの報道がされております。

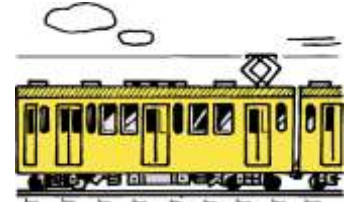
飯能市では、所沢市、狭山市、入間市の4市で構成している埼玉県西部地域まちづくり協議会で「鉄道路線の維持及び埼玉西武ライオンズの存続について」の署名活動を行いました。また、市内の高等学校、大学等に署名をお願いするとともに公共施設での署名、市職員による署名も行いました。期間の短い中、またお忙しい中、多くのみなさまにご協力いただき感謝しております。

では、鉄道の廃止とは簡単にできてしまうことなのでしょうか？

鉄道は「鉄道事業法」という法律に基づき運行されています。

現在の法律では、廃止の1年前までに国土交通大臣に届出をすることになっており、届出をすると1年後には廃止できることとなっています。廃止されると地域は大変なことになります。鉄道路線の存続のためには、地域が一丸となり必要性を訴えるということだけでなく、多くのみなさまに鉄道を利用していただくことが重要です。鉄道利用者は年々減少しているという現実があります。

市内の公共交通を維持していくため、鉄道やバスなどの公共交通機関を積極的にご利用していただきますようよろしくお願いいたします。

**バスの利用にはパスモ・スイカがお得です。**

バスの運賃支払いにパスモやスイカを使うと小銭を用意する必要がありません。

パスモ・スイカを使ってバスを利用する特典はそれだけではありません。

「バス特チケット」が付与されることをご存知ですか？

バス特チケットとは・・・

- ①バス運賃お支払い額10円ごとに10バスポイントがカード内へ自動的に記録されます。(バスポイントは毎月1日～末日まで累積されます。翌月になった場合は、新たに0ポイントから記録されます。)
- ②1,000バスポイントごとにご利用のパスモ・スイカ内にバスで利用できるバス特チケットが付与されます。(1,000バスポイントで100円分のチケットが付与されます。)
- ③付与されたチケットは次回、パスモ・スイカでバスをご利用の際、自動的に運賃として使用されます。
- ④バスポイントは10,000バスポイントを上限として累積され、また、1,000ポイントごとに付与されるチケットは異なります。

例えばパスモ・スイカで210円区間を往復で21日間乗車すると、現金だと8,820円のところを7,620円で乗れます。(1,200円もお得です！)

西武バス、国際興業バスは、パスモ・スイカがご利用できます。

なお、パスモ・スイカは鉄道駅またはバス営業所でお求めできます。

詳しくは事業者へ問い合わせ、または、事業者のホームページをご確認ください。

なぜ「空バス」は走るの？

バス車内を見るとほとんど乗客がなく、「空気を運んでいるバスは走る必要があるのか」とか「空バスなら廃止してもいいのではないか」と考えたことはありますか？

バスの利用者が多い時間帯は、朝早くまた夕方以降の通勤・通学の時間帯です。この時間のバスを確認される方は少ないかもしれません。多くの「空バス」は昼間の時間です。この時間は地域にいる方も限られ、バスの利用者も少ないことからガラガラのバスになります。(バスが走っているのを見るのもこの時間帯が多いのではないのでしょうか。)

また、バスは目的地に到着することで運行が終了するのではなく、次の利用者のために、再度出発地点に戻らなければなりません。(回送運行しても運行時間はさほどかわらず、経費も通常運行と同様にかかります。)

例えば、朝、名栗車庫から通勤・通学者のために飯能駅まで運行するとします。次の利用者のためには、またバスを名栗車庫に戻す必要があります。(バスを戻さないと車両は何台も必要となります。)

朝、名栗方面に行く方は、飯能駅に向かう人よりも少ないので、バスもガラガラになります。(夕方以降は逆になります。…最終バスも早いのはこのためです)

利用者がいないからと名栗車庫への運行をやめてしまうと、次に名栗車庫から飯能駅にバスで出かけた人は出かけられなくなります。

昼間、利用したい人も「空バス」を理由に運行をやめられると外出できなくなります。

「空バス」はバスの運行上、必要であり、また、どうしても発生してしまうものです。

昼間、外出には可能な限りバスを利用していただき、ガラガラの状況が少なくなるようご協力をお願いします。

バスの運行費用について

路線バスは、労働集約型産業（人件費の占める割合が高い産業）と言われており、運行経費の6割程度は人件費となります。

これは、人件費が高いということではなく、バスは、車両があっても乗務員がいないと走りませんので運行経費の中で、人件費の占める割合が高くなります。(大型2種免許保持者しか運転できないという特殊性もあります。)

そのほかの経費としましては、バスの車両代、燃料（ガソリン）代、車両修繕・点検料、保険料、一般管理費（事業運営上必要な事務経費）などとなっています。

国では、地域別にバス1km運行するための標準の経常費用が示しております。埼玉県は「武蔵・相模」ブロックになり平成24年度は1kmあたり約470円が標準的な経費となっています。

国際興業バス間野黒指線は飯能駅～間野黒指間の距離が約11.9kmであり、国の標準単価により1回の運行経費は約5,600円となります。

この区間の運賃は大人430円ですので、現金利用者の大人が飯能駅から終点の間野黒指まで約13人が乗って収支がほぼ合うということになります。



日本一長い路線バス

飯能市内は国際興業バス、西武バス、イーグルバスが運行しています。この3社の中で一番長い路線バスは飯能駅北口からさわらびの湯を經由して終点湯の沢まで運行している国際興業バスの「湯の沢線」です。運行距離は28.08km、運行時間は58分、そして運賃は790円（大人）となります。

では、日本で一番長い路線バスをご存知でしょうか？高速道路を使わない路線バスとして日本一長い距離を走る路線バスは、奈良交通の「八木新宮特急バス」です。奈良県の大和高田市、御所市などを得て村では面積日本一の十津川村を抜け、和歌山県田辺市を通過して新宮へ。運行距離166.9kmを約6時間半かけて走っています。運賃は、5,250円（大人）とのことです。

単純に、運賃を距離で割り湯の沢線の運行距離を掛けると運賃は約883円、運行時間を運行距離で割り、湯の沢線の運行距離を掛けると時間は約65分となります。

湯の沢線は時間がかかる、運賃が高いなどと言われますが、決してそうではなく、逆に信号が少ないことから長い距離を早く移動していると言えるかもしれません。名栗地区には河原やキャンプ場、温泉のほか鳥居観音や名栗川橋、尾須沢鍾乳洞など名所や観光場所がたくさんあります。この夏、路線バスで1時間の旅を楽しんでみませんか。

**新図書館がオープンしました**

飯能市立図書館の新館が、7月1日に山手町にオープンしました。この新図書館は地元産の西川材をたくさん利用しているので、木の薫りが漂います。また、平成25年度木材利用優良施設コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。館内では、皆様の役に立つさまざまな機能や新しいサービスを行ってまいりますのでぜひご利用ください。

新図書館までの公共交通でのアクセスは、飯能駅北口（2番乗り場）からこまニュータウン循環または埼玉医大行の国際興業バスをご利用いただき、「天覧山入口」で下車してください。

**休暇村奥武蔵で再スタート**

旧埼玉県奥武蔵あじさい館が全国37番目、埼玉県内でははじめての「休暇村 奥武蔵」として7月1日に再スタートしました。ここ休暇村 奥武蔵では、この季節ならではの「ガーデンバーベキュー」が楽しめます。お肉や野菜はもちろん、バーベキューに必要なものはすべて準備し、片づけも不要です。電車で行けばビールなどのアルコール類も楽しめます。

公共交通でのアクセスは、西武鉄道をご利用し、吾野駅から送迎バスで5分です。

送迎バスも定時運行しています。電車も利用が少ないと廃止という話が再び出るかもしれません。電車もバスも守り育てるためには多くの方の利用が必要です。

「バスコン in 飯能」を開催しました

飯能市では路線バスの利用と地域の活性化に結び付ける企画として7月28日に「バスコン in 飯能」を名栗地区で開催しました。(企画運営：株式会社B・A・P 後援：飯能市協力：国際興業バス、名栗地区活性化検討会)

参加者は男性13名、女性11名の計24名、当日は天候にも恵まれ、飯能駅南口に集合した参加者は国際興業バスで名栗地区にある白雲山鳥居観音へ行き、住職さんから恋愛祈願のお話を頂き、その後、ケニーズ・ファミリー・ビレッジでバーベキューを楽しみました。

フリータイム終了後、マッチングカードに気に入った方の番号を記入し、3組のカップルが成立しました。

飯能市では今後も路線バスを活用したイベントを開催していく予定です。

**「ヤマノススメ」バスが走ります**

コミック「ヤマノススメ」(制作：(株)アース・スター エンターテイメント)は、飯能市在住の少女たちが登山を通して友情を深め、互いに成長していく姿を描いたアニメです。

このアニメには、本市を代表する観光地である天覧山や飯能河原をはじめ、商店街などの風景が随所に登場し、本年1月からテレビ放映(TOKYO MX 9チャンネル)されました。また、現在連載中の原作では、棒ノ嶺、さわらびの湯、河又名栗湖入口バス停(国際興業バス)などが描かれています。

その「ヤマノススメ」がラッピングバスとして帰ってきました。(8月11日(日)に出発式を行いました。)ラッピングバスは、8月17日(土)から1年間、飯能駅～名栗・湯の沢間を主に運行しますので、ぜひご乗車ください。なお、運用ダイヤにつきましては市ホームページまたは、国際興業バスホームページをご確認ください。



(車内には原画も展示しています。)

国際興業バス彩京のびのびパスの発売

国際興業バスでは、65歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる彩京のびのびパスを9月16日(月)祝から販売いたします。

彩京のびのびパスは、19,990円で平成25年10月1日から平成26年3月31日までの半年間、国際興業バスの全路線(※高速バス等一部の路線を除く)が乗り放題になる便利な定期券です。

参考：このパスで月4往復(8回)バスを利用すると1乗車あたりの運賃が約416円と大変お得です。(多く乗車することにお得になります。)

お買い物・通院・お出かけにご利用ください。

お問い合わせ：国際興業バス飯能営業所(973-1161)

路線バスを運行するためには

市内には、西武バス、イーグルバス、国際興業バスの路線バスが運行しています。路線バスを運行するためには道路運送法の許可が必要です。道路運送法ではバスやタクシーなどの「旅客運送事業」を次のとおりとしています。

- ①一般乗合旅客自動車運送事業・・・いわゆる「路線バス」のことです。
- ②一般貸切旅客自動車運送事業・・・旅行などで使用する「貸切バス」のことです。
- ③一般乗用旅客自動車運送事業・・・いわゆる「タクシー」のことです。
- ④特定旅客自動車運送事業・・・学校や会社などの「送迎バス」のことです。

これらの事業を経営しようとする場合は、国土交通省の許可を受けなければなりません。

路線バスを事業として運行する場合は、①の許可を、路線バスと貸切バスを事業として運行する場合は①と②の許可が必要です。すなわち、貸切バスの事業者が路線バスを運行する場合は、「貸切バスを運行しているからできる」ということではなく、法律に基づいた許可を受けてからでないといけないということです。



路線バスの許可を受けるためには、路線の起終点、停留所の場所、停留所での時刻設定、配置車両、車庫の位置・収容能力、運行回数などのほか、運行管理者を定めなければなりません。運行管理者は国土交通大臣から運行管理者資格者証を交付されなければならないという、厳しい条件があります。運賃についても自由に設定できるということではなく、国土交通省に申請し、適正な額として認められなければなりません。市営のバスやコミュニティバスを運行する場合も同様の手続きが必要です。(許可のための書類は審査をしている人でも作成するのが難しいとのことです。)

バスは走らせればよいというものではなく、走らせるためには、乗客の安全を第一に考え、事故のないよう安全運転を順守しなければなりません。そのようなことから法律による手続きは大変厳しくなっています。路線バスを走らせることは、簡単にはできないということをご理解していただきますようお願いします。

「エコ通勤チャレンジ2013」の参加者を募集しています。

埼玉県では、マイカーを使わない通勤を体験してもらうキャンペーン「エコ通勤チャレンジ2013」の参加者を募集しています。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出につきましては、家庭からのものが事業活動に次いで多くなっています。

バスをはじめとする公共交通は多くの方が利用することができ、また利用することでマイカーからの二酸化炭素排出量を削減することができます。

本市の公共交通の維持のため、また、大気環境改善のため、エコ通勤にチャレンジしてみませんか？参加者全員に参加賞と「クリアファイル型認定証」がプレゼントされます。詳しくは、埼玉県大気環境課のホームページをご覧ください。(参加申し込みもホームページからとなります。)

